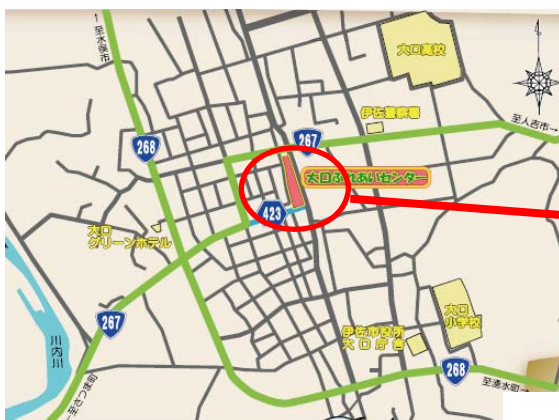


□第12回川内川子ども環境ネットワーク全体発表会開催！ ～川内川の水はきれいかな？！～

12月5日(土)に、今年度で12回目を向かえた「川内川子ども環境ネットワーク全体発表会」を鹿児島県伊佐市内において開催しました。今年度の川内川子ども環境ネットワーク「環境教室」の申込み者は**参加団体のべ20団体640名**でした。今年度の発表会には**7団体(子ども環境ネットワーク4団体、一般3団体)**が参加し、**50名**の方が来場されました。

川内川流域の小学生(3団体)、大学生(1団体)が、近隣の河川水質などの調査・研究内容とその結果を報告しました。



会場は伊佐市の大口ふれあいセンターでした

大口ふれあいセンター

のべ20団体が調査した地点です。



No.	調査団体名	調査時期	参加人数
1	南永地区コミュニティ協議会 南永小学校	8月1日	26
2	川内川をつくり見守る会	8月2日	29
3	清色地区コミュニティ協議会	8月2日	46
4	高来地区コミュニティ協議会	8月22日	44
5	べんきょうしつモンシェリハウス	8月28日	38
6	薩摩川内市立朝陽小学校・入来中学校	9月4日	18
7	薩摩川内市立大馬越小学校・入来中学校	9月4日	12
8	えびの市立加久藤小学校	9月10日	44
9	薩摩川内市立育英小学校	9月11日	74
10	北薩広域公園	9月13日	24

No.	調査団体名	調査時期	参加人数
11	えびの市立飯野小学校	9月15日	77
12	清色地区コミュニティ協議会	9月24日	18
13	日本棚田百選内之尾棚田を守り隊 (鹿児島大学農学部)	9月26日	4
14	えびの市立真幸小学校	10月5日	31
15	薩摩川内市立南瀬小学校	10月14日	6
16	薩摩川内市立朝陽小学校	10月16日	12
17	えびの市立上江小学校	10月21日	16
18	えびの市、コカ・コーラウエスト共催 「えびのさわやか自然の森」	10月24日	54
19	さつま町虎居区公民館	10月28日	50
20	さつま町立山崎小学校	11月24日	17

全体発表会の発表団体

発表団体の子どもたち



南永校区コミュニティ協議会



清色地区コミュニティ協議会



高来地区コミュニティ協議会

□今年度実施した川内川子ども環境ネットワーク「環境教室」
今年度は8月から11月にかけて、のべ20団体640名(水質調査のみを含む)が参加されました。各団体の調査日、調査場所を掲載いたします。

きよしき

①8月1日伊佐市南永地区コミュニティ協議会(場所:伊佐市白川川)



②8月2日清色地区コミュニティ協議会
協議会(場所:薩摩川内市清色川)



たかき

③8月2日川内川をつくり見守る会
(場所:薩摩川内市高城川)



④8月22日高来地区コミュニティ協議会
(場所:薩摩川内市高城川)



おおまごえ

⑤8月28日べんきょうしつモンシェリ
ハウス(場所:さつま町夜星川)



⑥9月4日薩摩川内市立大馬越小学校
(場所:薩摩川内市樋脇川)



⑦9月10日えびの市立加久藤小学校(場所:えびの市長江川)



⑧9月11日薩摩川内市立育英小学校(場所:薩摩川内市高城川)



⑨9月13日県立北薩広域公園(場所:さつま町えんず川)



⑩9月15日えびの市立飯野小学校(場所:えびの市川内川)



⑪9月26日日本棚田百選内之尾棚田を守り隊(鹿児島大学農学部)(場所:薩摩川内市内之尾川)



⑫10月5日えびの市立真幸小学校(場所:えびの市川内川)



のうぜ

⑬10月14日薩摩川内市立南瀬小学校(場所:薩摩川内市川内川)



ちょうよう

⑭10月16日薩摩川内市立朝陽小学校(場所:薩摩川内市後川内川)



⑮10月21日えびの市立上江小学校(場所:えびの市川内川)



⑯10月24日えびのさわやか自然の森(えびの市・コカコーラウエスト共催)(場所:えびの市川内川)



⑰11月24日さつま町立山崎小学校(場所:さつま町久富木川)



⑱9月24日清色地区コミュニティ協議会(場所:薩摩川内市樋脇川)
清色では大人もがんばりました!



□土木フェスタinさつませんだい開催！

～子どもたちに土木の魅力を発信！！～

11月7日(土)に、今年度で6回目に向かえた「土木建築フェスタ in さつませんだい」を鹿児島県薩摩川内市内において開催。(主催:鹿児島県建設業協会川内支部)

今年度は17団体が参加し、約**570名**の方が来場。

川内川河川事務所からはパネル・ダム模型展示の外、**降雨体験機**・**土石流模型**を展示及び実演。

人気の**降雨体験機**には**361名**の方が時間180ミリの雨を体験。



ダム再開発模型



会場内の様子



降雨体験機



高いよ～



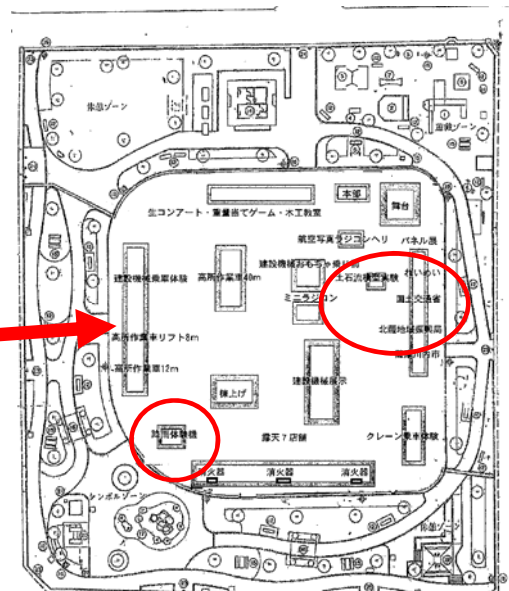
土石流模型



ここ危ないよ



パネル展・立体地図



□川内川今昔（11） 改修の祖、山本実彦

薩摩川内市市街部の川内川右岸（下流の向かって右側）天大橋上流側堤防脇に、山本実彦生誕の地の石碑が建てられています。山本実彦は川内中学に入りましたが、家計の貧しさから中退、その後、法政大学夜間部を卒業し、新聞記者となりました。明治43年イギリスに特派員として派遣され、1年間在英し、近代国家を体験して帰国しました。

大正8年（1919年）34歳の時、出版物により日本の封建思想を変革しようとして改造社を創設しました。改造社の「現代日本文学全集」は、一円で買えるいわゆる「円本」で注目を浴びました。また、文庫本の先駆けとなる十銭の「改造文庫」の出版を始めました。

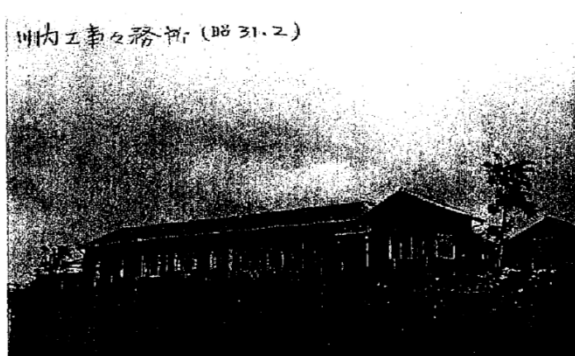
昭和5年（1930年）には衆議院議員に当選しました。各界の著名人と交流がり、与謝野晶子・鉄幹夫婦を薩摩川内市に招待し川内川などを案内しています。東京にいても故郷への愛を持ち続けていました。与謝野晶子は、歌集「霧島の歌」の序文で、山本実彦はやっぱり薩摩の人である、会うたびに川内川が美しいことを誇って語る旨のことを述べています。

一方、川内川は、暴れ川で氾濫を繰り返していました。昭和6年（1931年）山本実彦は内務省に働きかけ、川内川改修事務所の設置を導きました。この改修事務所が、今の国土交通省川内川河川事務所の前身になります。近代国家としての川内川河川改修が始まって一昨年で80年を迎えました。地元関係者主催で「川内川改修工事着手80周年記念講演・シンポジウム」が開催され、地元の人々は、山本実彦の功績を偲ぶと同時に川内川が繰り返してきた洪水を振り返り、治水事業の促進と防災意識を持ち続けることの重要性を再確認しました。

参考資料・・・南日本新聞「南風録」、
薩摩川内市教育委員会「せんだい歴史絵日記」
リポーター：九州防災エキスパート 加治屋 義信



生誕の地石碑(写真)



昭和31年川内川工事事務所(写真)

「川内川Webマガジン せせらぎ」とは、川内川河川事務所の動きを住民の皆様に広く知ってもらおう事と、川内川流域での川内川に関する地元のボランティア活動や催し等の情報交換の場になる事を目的とし、川内川河川事務所ホームページ上で定期的に更新しています。お気軽にご覧ください。

川内川河川事務所ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>

皆様がお持ちの、川内川に関するさまざまな思いや意見、河川清掃等のイベント情報を「川内川Webマガジン せせらぎ」にお寄せください。文字数は300字程度。お名前と連絡先も一緒にお送りください。写真もあれば、ぜひご提供いただきますようお願いします。皆様からの投稿を今後も掲載していきますので、よろしくお願いします。（スペースの関係等で掲載できない場合もあります。ご了承ください。）

メールで送られる場合は sendai@qsr.mlit.go.jp

FAXなら 0996-25-0862へどうぞ！

「川内川Webマガジン せせらぎ」に関するご相談・お問い合わせ先

事務局：国土交通省 川内川河川事務所 調査課 TEL:0996-22-3359 FAX:0996-25-0862